

① 救急部

救急部においては、2015年度において、前年の2014年度よりも救急患者を多く受け入れ、本院における救急医療体制の構築及び地域医療への貢献が認められた。

② 術前外来ワーキンググループ

術前外来ワーキンググループにおいては、安全で質の高い医療の提供を目指して、「外来担当医の業務負担軽減に資する取組」及び「外来診療単価の向上に向けた取組」を行い、本院の運営に大きく貢献いたしました。

③ 産科婦人科 ^{はまにし じゅんぞう} 濱西 潤三 講師

濱西講師においては、化学療法抵抗性の再発卵巣がん患者に対し、世界で初めて、抗PD-1抗体（ニボルマブ）を用いた医師主導治験（第II相試験）を準備段階から治験終了まで治験責任医師として管理・統括し、本薬剤の有効性と安全性を示し、本院の業績に大きく貢献した。

④ 看護部看護管理室 ^{みとみ ようこ} 三富 陽子 看護師長

三富看護師長においては、退院後在宅でのストマケア、スキントラブル、褥瘡予防マットレスの選択、症状マネジメントなど、幅広くコンサルテーションに応じており、それらの活動を通して、地域における医療課題の解決に大きく貢献した。

⑤ 新病院整備推進室

新病院整備推進室においては、南病棟の竣工・移転において、中心的役割を果たし、本院の運営に大きく貢献した。

⑥ 医師クラークグループ

医師クラークグループによる「全診療科の診断書下書き実施」は、「医師事務作業の負担軽減」のみならず、診断書完成率を大いに改善し、患者サービスの向上にも大いに貢献した。

⑦ 医療情報企画部 ^{おかもと かずや} 岡本 和也 講師

岡本講師においては、病棟で実施する血液浄化療法の統括管理システムの構築と輸血照合システムの再構築、またNICUでのミルク調整に関するシステム改修等、各種システムの構築により、作業効率化による職員の負担軽減及び医療安全への貢献が認められた。